



ふれあい西本郷小

平成30年度
11月号

横浜市立西本郷小学校 学校だより 平成30年 10月26日(金)
一人ひとりがかがやき、みとめ合い、つたえ合い、たかめ合う西本小の子
キャッチフレーズ:あいさついっぱい みんながえがお 西本小

『やりきれ こえだせ 西本魂』



副校長 谷田 全司

10月20日(土)、天候にも恵まれ、運動会を開催することができました。10月のはじめから、練習が始まり、各学年で運動会に向け、種目の練習だけでなく、学年としての参加意識や役割意識等を少しずつ高めることが、運動会当日に集大成していったのだと思います。

たくさんの保護者、地域のみなさまに励ましの声援や拍手をいただき、本当にありがとうございました。PTA、ボランティアの方々には、受付や会場整理、後片付けなどご協力ありがとうございました。

今年の運動会で、一番子どもたちがつけた力は、スローガンにあるように「あきらめず、最後まで全力で力を出し切る。」ということだったと思います。どの競技・演技にも、そのことが読み取れました。気持ちをそろえ、全力を出し切り、そのあとの結果である勝敗についても、素直に喜び、勝敗に関係なく互いに讃え合う姿に感動しました。

〈閉会の言葉〉より(五年 堀井 陽万里)

私は今年の運動会で、六年生といっしょにソーラン節や騎馬戦をしたことが、一番心に残っています。五年生になって、ソーラン節を踊ったり、騎馬戦をしたりすることがとても楽しみでした。でも、実際にやってみると、切れのある動きをしたり、騎馬をバランスよく立ち上げたりすることが、想像以上に難しく感じました。そんなとき、六年生にやさしく教えてもらって、とてもうれしかったです。アドバイスを聞いて友達とも息を合わせて練習していくうちに、だんだんできるようになりました。本番では、練習の時よりできたところと、少し緊張してうまくできなかったところがありました。六年生と協力して一生懸命練習したことや、友達と励まし合ってがんばったことが一番の思い出です。

六年生は今年が最後の運動会でした。私は、ソーラン節、騎馬戦で教えてもらったことを来年の五年生に伝えていきます。六年生として、西本小の伝統を受けつぎ、来年も今年のように楽しく、悔いの残らない運動会にします。

〈閉会の言葉〉より(六年 清水 想真)

ぼくにとって、今回の運動会が最後の運動会でした。悔いの残らないよう、しっかりとやりとげられたと思います。

なぜなら、五・六年生で取り組んだソーラン節を全力でキレッキレに踊ることができたからです。

去年は、六年生からソーラン節を教わりました。今年は五年生にやさしく分かりやすく伝えることを意識しました。信頼される六年生を目指して、五年生と一緒に取り組むことができました。

これからは、卒業に向けて頑張っていきたいです。

それぞれの学年で、この運動会でつけた一人ひとりの力をこれからの学習や生活に生かし、担任や友だちや様々な人々との関わりを通して、大きく成長していったほしいと思います。